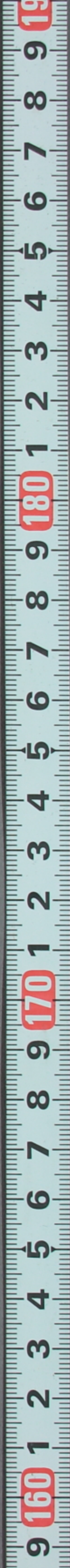




源義家公陸奥國陣中大刀縣圖

イ 4
2478
102

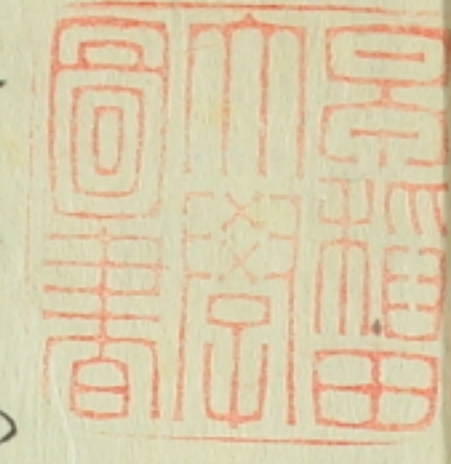


門 14
號 2478
卷 102

源義家公陸奥國陣中太刀懸圖

吉亨軒藏





六百十年三前
七百年(向)
後冷泉三子後三子
身羽院堀河院
寛治五

太刀掛之辞

里村昌逸後稿辞
中田有年字

むし寛治の... 諺奥... 忠... 侍...
... 堀河の帝... 文... 侍...
軍... 義... 皇... 侍... 春...
秋... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...
... 侍... 侍... 侍...

書目録

舒シユ風フウ舒シユ來キ

収シユ来キ

享和二年戊午
種心齋八里村昌逸
法橋

思ふに花下法眼小新小調とて猶もききし予 又是を
寫し置るるに傳へてはさるるに法眼といふ是を
寫すや世のより時よりしてハ酒のにおも風節小曲の法眼
静めしとるにぬるるにハ法眼とて事なれども是を
まやの甲ののきぬぬるるにハ法眼といふはれは
唯のけとてさるるにハ法眼といふはれは
とてさるるにハ法眼といふはれは

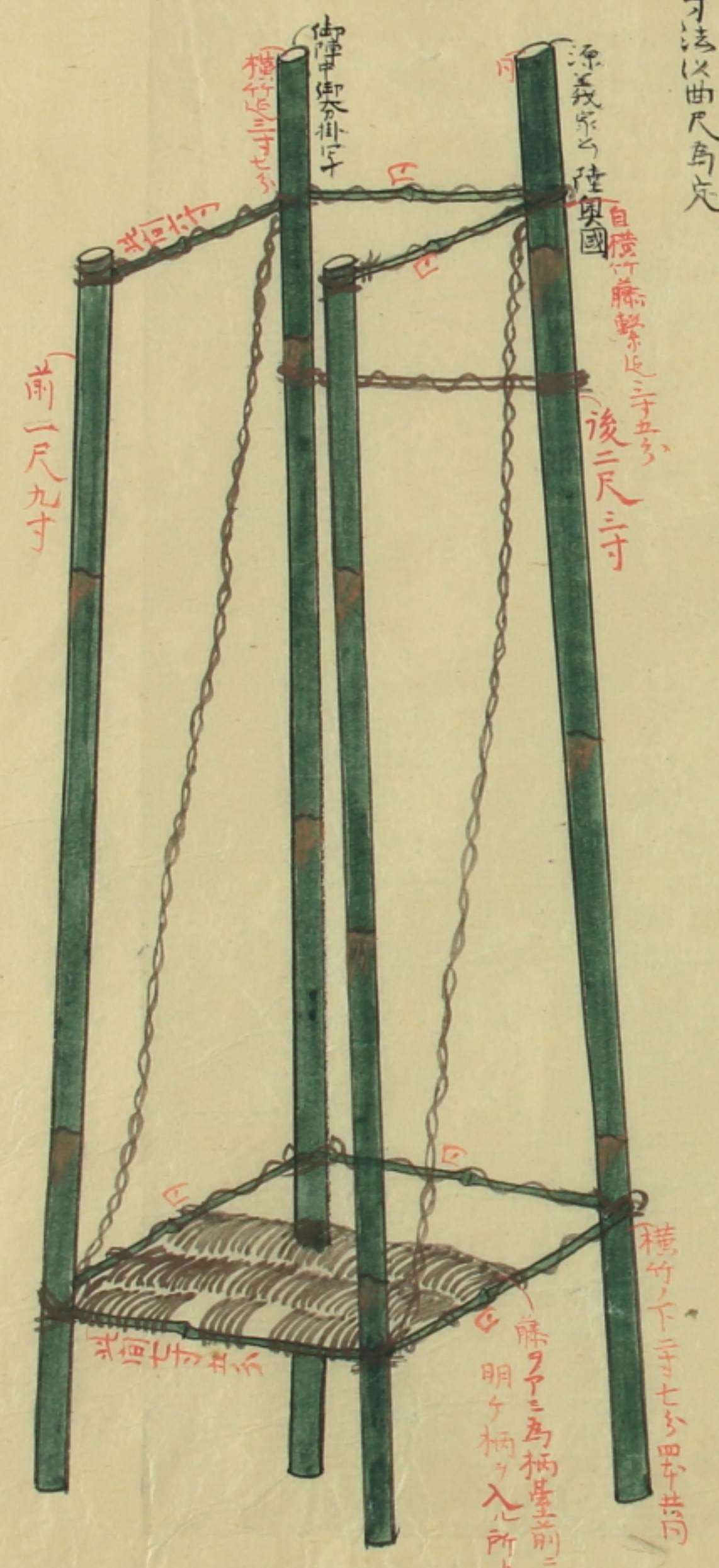
享和二年の
法橋

種心齋法橋
法橋

かゝるるに福井家の猶もききし予
此す衆のききし予の猶もききし予
とてさるるにハ法眼といふはれは

八幡大印源義家の陸奥國御太刀掛云々 如圖以自竹造之本儀也以生竹造始欵
依之予摸圖以生竹之色作之才法專如朱書後以黒漆如圖記有之
昔文政四年己未歲林鍾上浣日 喜軒外法橋造

才法以曲尺為定



種竹下三寸五分中法可
明々柄入所トナス

